

施策分析シート（平成22年度）

No1

施策名	防災基盤の整備	施策No	11-02	部課名	区民生活部防災課	課長名	大関 英広	内線	491
関連部課名	区民生活部防災課								
行政評価 事業体系	分野	安全安心都市[]							
	政策	防災・防犯のまちづくり[11]							
目的	災害時の延焼防止、地域の防災活動拠点となる防災広場の整備や避難活動、避難生活に向けた対策の推進、災害時のみならず平時の防災対策など、区民の安全・安心に資するため、災害に強いまちを目指して各種防災基盤を整備する。								
指標	施策の成果とする指標名		指標の推移					指標に関する説明	
			19年度	20年度	21年度	22年度	目標値 (28年度)		
	火災による建物の焼損床面積（㎡）	277	161	200	200	170	目標値：17年度の約8割減		
	地域設置消火器数（本）	4,267	4,096	4,060	4,300	4,500	全設置数		
	防災広場整備数（ヶ所） （地域危険度4又は5の町丁目の数）	13	18	18	19	21	地域危険度4又は5の地域は32ヶ所（うち整備済み18）		
現状と課題 （指標分析）	○東京都が19年2月に公表した地域危険度調査の見直しでは、荒川区の地域危険度4又は5の町丁目は、見直し前の25ヶ所から見直し後は32ヶ所に増加した。荒川区地域防災計画が目指す減災に向けた事業推進を図る必要がある。								
今後の方向性	○地域防災計画を基に、防災広場や備蓄倉庫管理、地域設置消火器など、減災に向け各種防災基盤について、すみやかに整備を図る。								

施策の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	推進	地域防災計画の修正に伴い、それぞれの整備計画の見直しを図るとともに、既存の防災基盤の維持管理に努める。

施策分析シート（平成22年度）

No2

施策を構成する事務事業の分類						
事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		20年度	21年度	前年度 設 定	今年度 設 定	
防災広場管理	03-06-07	3,998	3,975	継続	継続	現状の維持管理水準を確保
備蓄倉庫管理	03-06-08	35,104	128,488	重点的 に推進	重点的 に推進	地域防災計画の見直しと併せ、 現実的かつ実態に即した備蓄計 画を作成・実施する
地域設置消火器整備	03-06-10	12,598	13,630	推進	推進	地域の防災力を高めるために必要
避難道路標識管理	03-06-11	847	392	継続	継続	現状の維持管理水準を確保
防災広場整備費	03-06-13	0	0	推進	推進	災害時の地域活動拠点として、 また一時集合場所として整備
小型防火水槽整備	03-06-14	-	-	継続	推進	現状の事業規模を来年度には拡大
IPカメラ管理費	03-06-15	968	2,780	推進	継続	災害発生時における情報収集手 段の確保のためにも必要
震災対策用トイレ整備費	03-06-16	26,307	10,343	推進	推進	地域防災計画の見直しと併せ、 トイレ計画も見直しを図る
合 計		79,822	159,608			